

グローバル社会で活躍する子どもたちのために

新しい英語教育について

～日本一の英語教育を目指します！～



平成26年8月21日(木)
さいたま市教育委員会

新しい英語教育が求められる背景

「第2期教育振興基本計画」

平成25年6月14日 閣議決定より

グローバル化の
進展

少子化・高齢化の
進展

地球規模の課題
への対応

雇用環境の
変容

地域社会、家族の
変容

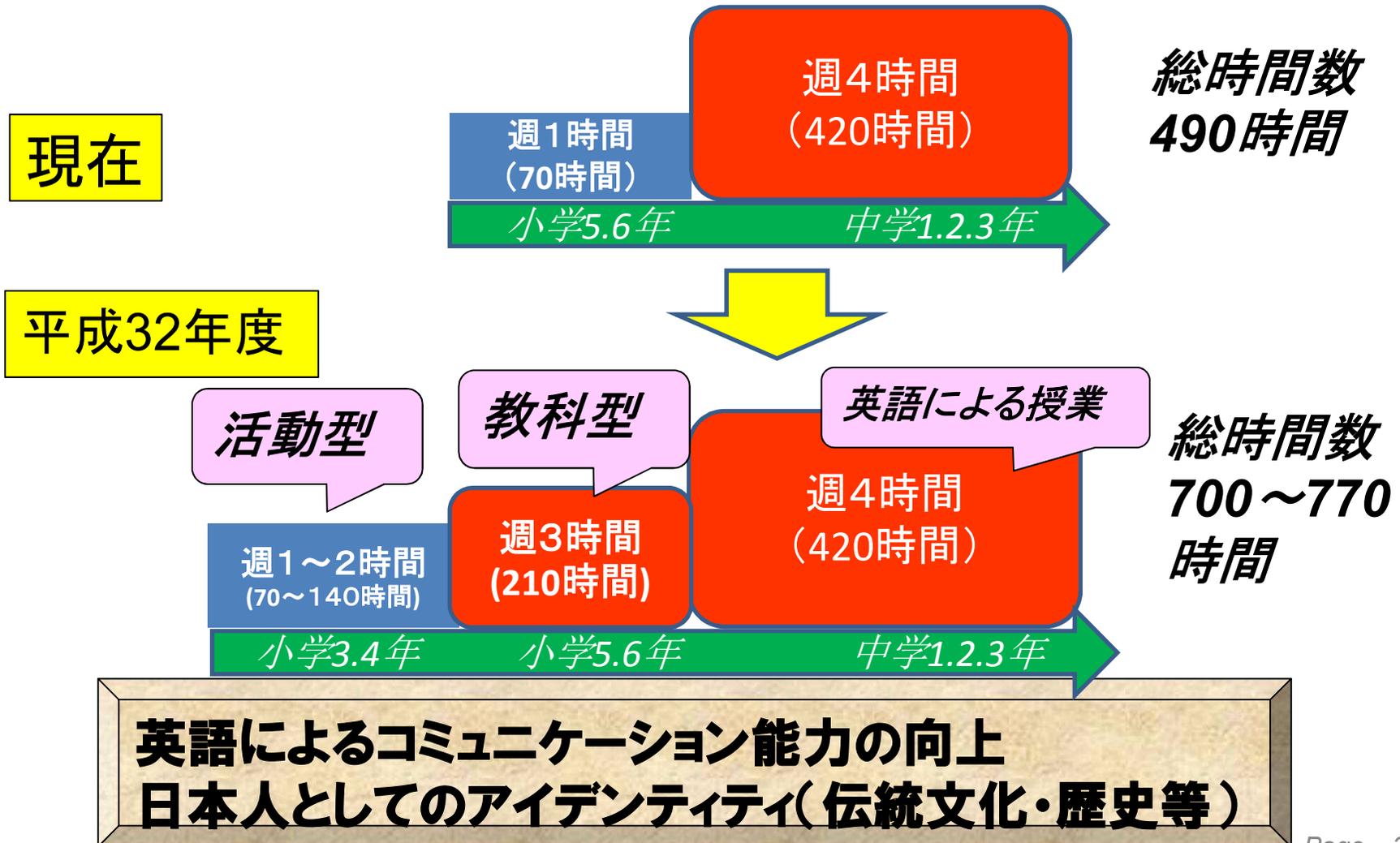
格差の再生産・
固定化



未来への飛躍を実現する人材の養成
外国語教育の抜本的強化

グローバル化に対応した英語教育改革実施計画

平成25年12月 文部科学省



本市の計画等への位置付け

2020さいたま希望のまちプラン 後期基本計画

- ・「次代を担う人材をはぐくむ都市さいたま」の創造
～学校教育のさらなる充実～
- ・多文化共生・世界に開かれた都市づくり

しあわせ倍増プラン2013

日本一の教育都市

- ・国際舞台等で活躍できる優秀な人材の輩出
- ・次世代を担うグローバル人材の育成
- ・さいたま市で子育てしたいと考える若い世帯の増加

さいたま市の現状と課題

■ 小学校（就学前）

現状：就学前の子どもたちが英語活動を経験

Q 英語に係る活動を行いましたか。

→ 90の市内幼稚園、保育所が「行った」と回答。

3歳から5歳の子ども45%（約14,700名）が英語活動を経験

さいたま市



45%

※平成26年度市内幼稚園及び保育所における英語教育に係る実施状況の調査（本市）より

Q 授業や英会話教室で英語を学び始めたのはいつからですか。

「小学校に入学する前」

全国



18%

※平成25年度全国学力・学習状況調査生活習慣や学習習慣等に関する調査より Page・5

さいたま市の現状と課題

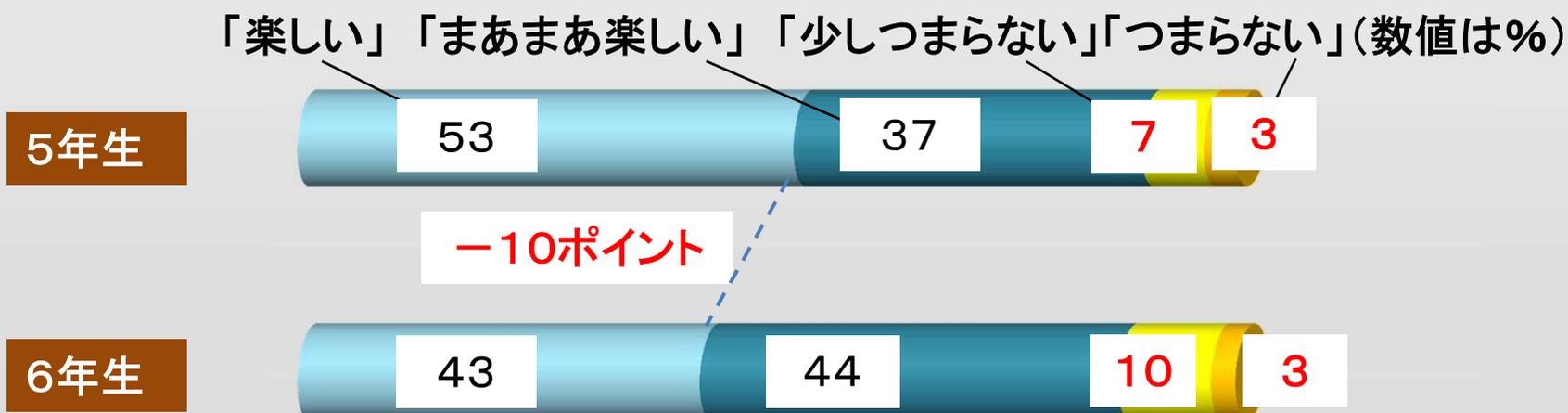
5、6年生：「英会話」週1時間ずつ実施

■ 小学校

現状：「聞く」「話す」活動のみ

課題：6年生になると意欲が減少傾向

Q 「英会話」は楽しいですか。（小学5、6年生の回答）



※平成25年度「英会話」アンケート（市内小学校10校に調査）より

さいたま市の現状と課題

■ 中学校

1～3年生:「英語」週4時間+「英会話」0.5時間ずつ実施

現状: 文法説明や和訳などが中心の授業

課題: 実際の場面で使えるようにならない
活動、体験する場が少ない
地域の伝統・文化を学ぶ必要性

・英語を使いこなす活動
英会話 週0.5時間

・教科書で学ぶ授業
英語 週4時間



・教科書で学ぶ授業
・英語を使いこなす活動
・我が国や地域の伝統・文化に関する学習
英語 週4.5時間

さいたま市のめざす子ども像

ゆめをもち、未来を切り拓く、さいたま市の子ども

Q 将来、海外へ留学したり、国際的な仕事に就いたりしてみたいと思いますか。（小学6年生の回答）

「そう思う」 「どちらかと言えばそう思う」（数値は%）



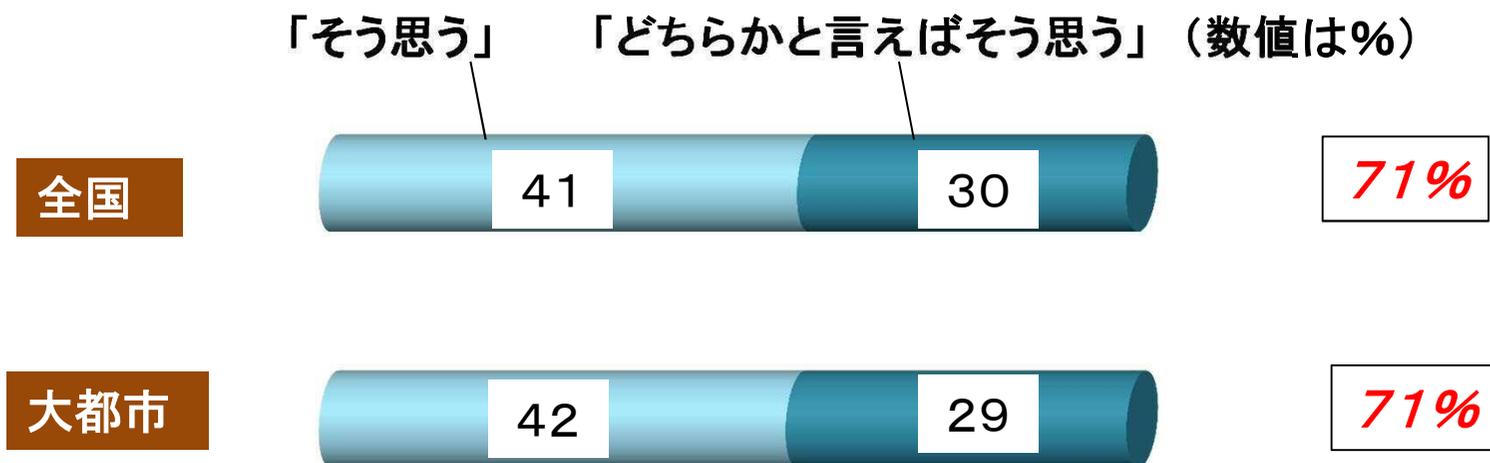
※平成25年度全国学力・学習状況調査生活習慣や学習習慣等に関する調査より

「そう思う」 「どちらかと言えばそう思う」（数値は%）



※平成26年度生活や学習に関する調査より

Q 外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思いますか。 (小学6年生の回答)



※平成25年度全国学力・学習状況調査生活習慣や学習習慣等に関する調査より

Q 外国の文化やマナーを知ろうとしていますか。 (小学6年生の回答)



※平成25年度「英会話」アンケート (市内小学校10校に調査)より

現在行われている「英会話」について

(小学5、6年生の保護者からの声)

英語の能力の育成を求める声

- 「実生活で生きるような使える英語を学ばせてほしい。」
- 「『英会話』の授業なのだから『英会話』ができるようになってほしい。」

早期英語教育を求める声

- 「恥ずかしさを感じる前の低学年から、自然な形で英語を取り入れていくことができればよいと思う。」

さいたま市

Step Forward 一歩前へ



- ・小学校1年生から
- ・9年間を一貫した新しい教科
- ・時間数増
+学んだことを活用する機会の設定



国



さいたま市



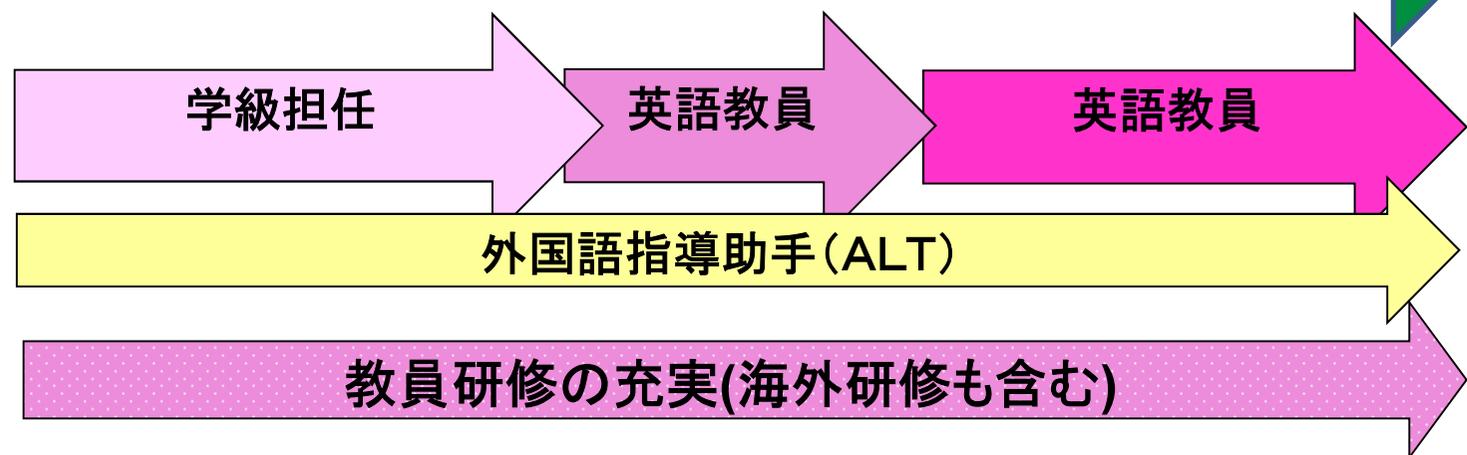
「さいたま市」が目指す英語教育

* 今後の国の動向により、時間数については変更あり

内容



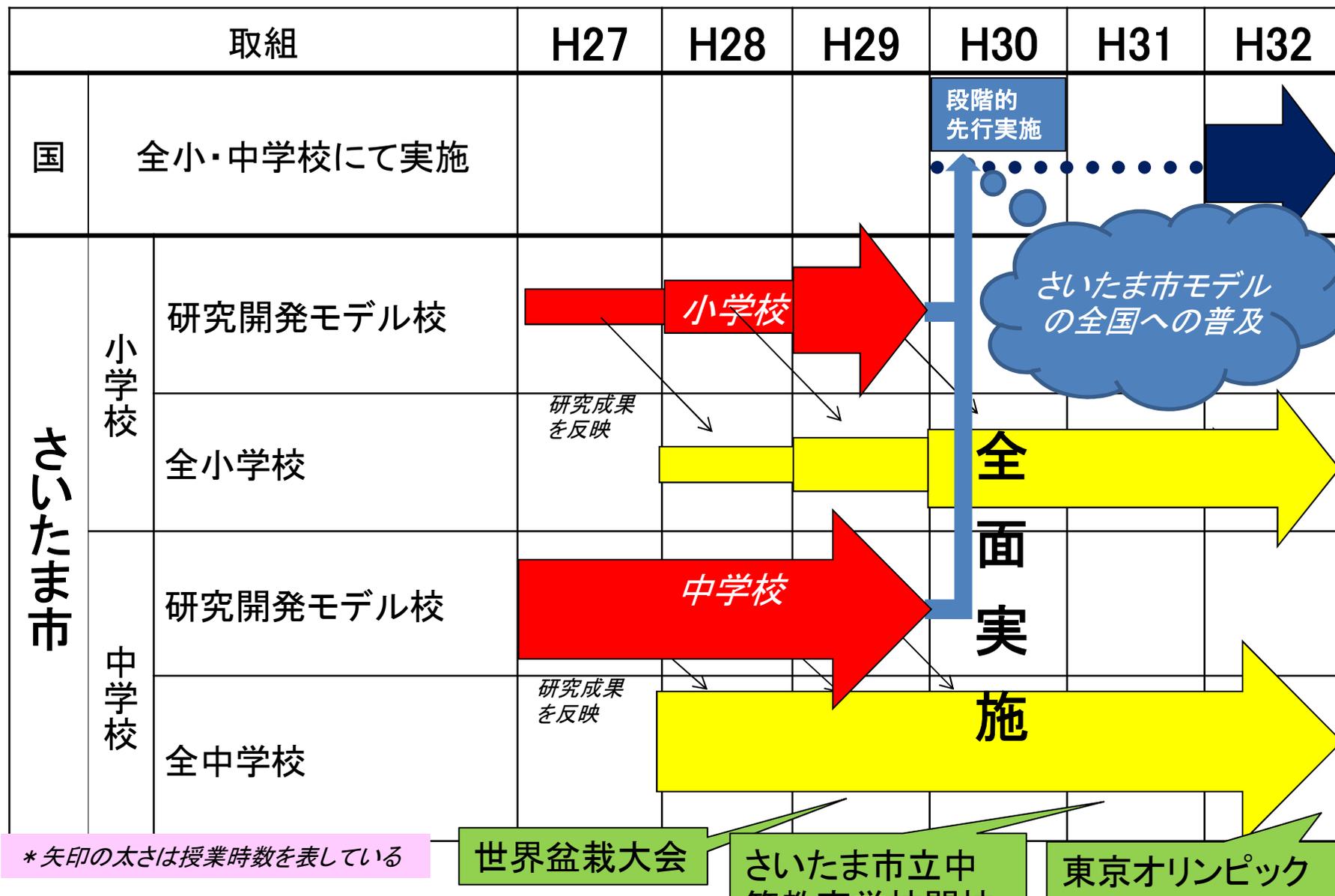
指導者



新しい英語教育の内容と指導者

学んだことを活用する機会

○・・・新規事業 ◇・・・現在行われている事業	小学校			中学校		
	1年～4年	5年	6年	1年	2年	3年
さいたま市国際ジュニア大使 (国際的なイベントに参加、交流)		○	○	○	○	○
英語劇大会 (グループによる英語劇の発表)	○	○	○			
英語弁論・暗唱大会 (個人、ペアによるスピーチ発表)				◇	◇	◇
英語ディベート大会 (設定テーマについてディベート)					○	○
イングリッシュ・キャンプ (希望者を対象に国内留学体験)		○			○	
Guam派遣 (各学校代表が現地で国際交流)			○			
ニュージーランド派遣 (各学校代表が現地で国際交流)						◇



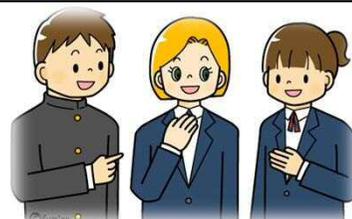
本市の新しい英語教育を実施すると・・・

◇外国の方と英語で積極的にコミュニケーションを図ることができる子ども

- ・乗り物の案内など、簡単なアナウンスを聞いて理解することができる。
- ・簡単な約束などを英語で伝えることができる。

◇日本やさいたま市の伝統・文化に誇りをもち、将来にわたり、本市に貢献する子ども

- ・本市の伝統行事などを英語で紹介することができる。
- ・国際的なイベントに積極的に参加することができる。



が育ちます。

成果指標

◇さいたま市国際ジュニア大使の認定
1,000名以上(H32)

◇外国に対する興味・関心の向上

(さいたま市生活や学習に関する調査)

55%(H26)→60%(H32)

◇コミュニケーション能力の育成

H27さいたま市生活や学習に関する調査
より+10ポイント以上

◇外部検定試験の受験者数と合格者数の増加

